

船舶の「最適航路計画」および「状態監視」システムを販売開始

ナブテスコ株式会社（本社：東京都千代田区、社長：寺本克弘）の船用カンパニーは、船舶の「最適航路計画」および「状態監視」システムの販売を開始します。

当社は、2021年7月にコーポレート・ベンチャー・キャピタルである、Nabtesco Technology Ventures L.P. (General Partner: 練馬洋) を通じて世界最先端のAI技術を有するR.K. Deep Sea Technologies Ltd. (以下「Deep Sea社」) に出資しましたが、この度、新たにDeep Sea社と、同社が開発した下記システムを日本・中国・韓国のお客さま向けに販売する代理店契約を締結しました。

「最適航路計画システム『Pythia』は、船舶運航データを活用した機械学習により、気象・海象や個船毎の船体汚損等を加味した最適航路を提供します。「状態監視システム『Cassandra』は、『Pythia』同様にAI技術を用い、実海域での燃料消費量や船体・機関の状態を監視し、船舶のパフォーマンス管理を支援します。

今後、当社の船用エンジン遠隔制御システムとDeep Sea社が提供する両システムを融合させることで、船舶運航でのCO₂排出量の削減や自律運行の実現に向けたデジタルソリューションを提供し、海運業界における環境負荷低減とデジタルトランスフォーメーション (DX) に貢献してまいります。

以上



最適航路計画システムのイメージ